

2018年度人権研修会

本学の同和教育・人権教育に資するため、今年度は下記のとおり現地研修を実施します。

日 程 9月18日(火)～19日(水)
場 所 熊本県水俣市

(内容)

水俣病と徳富兄弟ゆかりの地をめぐる

多くの犠牲者を出した工業災害として、1956年に水俣市で「公式確認」された水俣病に関係した地を、一般財団法人水俣病センター相思社の方に案内いただきます。その後、貴重な資料を備えた水俣病歴史考証館を訪れ、水俣病、水俣病患者の痛みや差別などに関する展示を見学します。語り部や患者さんから直接のお話を聞いたり、また患者支援活動をされている相思社の職員との交流も予定しています。翌日には水俣病資料館の他、ジャーナリスト、歴史家、思想家として活躍した兄の徳富蘇峰、「不如帰」などの作家として知られる弟の蘆花の兄弟の生家を訪問します。県内最古の町屋建築として建築史的価値を持つ文化財を見学し、館長による説明を受けます。

9月18日(火) 午後 水俣病に関わる現地案内、水俣病歴史考証館訪問



(公害の原点 百間排水口)



(考証館展示見学)

9月19日(水) 午前 水俣病資料館、徳富蘇峰・蘆花 生家訪問



(水俣病資料館展示) *水俣病資料館より写真提供



(徳富蘇峰・蘆花 生家)

* JR九州新幹線「新水俣駅」集合、解散の予定です。

* 現地までの交通費、その他研修に必要な経費は研修費から支出します。

専任教職員で参加ご希望の方は7月13日(金)までに、キリスト教文化センター(内線3320 E-mail:ji-kirib@mail.doshisha.ac.jp)宛ご連絡ください。参加者の方には後日詳細をお知らせいたします。

同志社大学人権教育委員会

(事務局:キリスト教文化センター)